

2024年
12月

MONOist DX Forum 2024

-製造業の革新に迫る3日間-

開催日：2024年12月11日(水)~12月13日(金)

申込締切：セッションプラン … 2024年11月20日(水)
リストプラン … 2024年12月6日(金)



開催概要

名称	MONOist DX Forum 2024	事前申込者数	約500名想定 来場者数 約300名想定
主催	  	想定講師	製造業の課題解決において、コストの削減やITの活用など具体的な事例を元に解決策や事例を提示できる講師
開催日	2024年12月11日(水)～12月13日(金)	想定視聴者属性	製造業のモノづくり関連職
申込締切	セッションプラン：2024年11月20日(水) リストプラン：2024年12月6日(金)	告知・集客	  
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント	運営	アイティメディア株式会社

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

企画背景

製造業DXをさらに推進する「MONOist DX Forum 2024」

製造業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みは既に始まっていますが、その進化は日進月歩。この進化を支援し、製造業のDXをさらに成功に導くための新たな知見やヒントを提供するのが「MONOist DX Forum 2024」の目的です。
MONOistでは2016年から「MONOist IoT Forum」を開催し、その流れを組んだ「MONOist DX Forum」の初開催を2023年に実施しました。その経験と実績を活かし、本フォーラムはさらに内容を深化・拡大しています。

2回目の開催となる2024年は、「工場DX（IoT、データ活用、AI）」「本当に使えるERP（データ基盤）を考える」「できるところから始める製造業DX」の3つのテーマで、それぞれ異なる視点から製造業のDX成功に必要な情報を提供します。

さらに、新たに4日目のテーマとして「カーボンニュートラル」を加え、製造業のDXによる課題解決や技術革新とともに、脱炭素社会の実現についても考えます。DXはデータ活用や自動化によって効率を高めるだけでなく、エネルギー消費の最適化や廃棄物の削減にも貢献します。これにより、カーボンニュートラルとDXは切り離せない関係にあります。環境負荷の低減と持続可能な成長を両立させるための最新技術や事例などを紹介し、製造業の新しい未来の在り方についても取りあげます。

開催中止

様々な観点で、製造業の革新を考えることで、本イベントは製造業界の成長の一助になることを目指します

1.工場DX（IoT、データ活用、AI）の実践

工場のIoT活用／スマート化

【対象領域】
IoT活用、データ活用、セキュリティ対策など、工場・生産領域に関する課題



2.本当に使えるERP(データ基盤)を考える

製造DXを実現するデジタル基盤

【対象領域】
各業務領域の情報を統合し、製造業のDXを本質的に進展させるためのデジタル基盤の構築



3.できるところから始める製造業DX

製造DXのはじめの一步を踏み出す

【対象領域】
ペーパーレス化や労務管理、業務効率化など、まず取り組みやすいIT／DXの活用・導入



4.カーボンニュートラル

環境負荷の軽減と持続的成長

【対象領域】
エネルギー消費の最適化、廃棄物の削減、見える化など



開催中止

コンテンツ詳細 1.工場DX（IoT、データ活用、AI）の実践

概要

近年、製造業の工場・生産領域では、IoT、データ活用、AI技術の導入により、生産効率の向上、品質管理の最適化、コスト削減などの目的でスマートファクトリー化が進んでいます。これにより、「つながる工場」の概念が現実のものとなり、工場の自動化と情報化が進展しています。

しかし、これらの技術導入には、初期投資の負担、専門的な人材不足、セキュリティリスクの管理など、多くの課題が存在します。また、実際に導入した企業の中には、期待した効果が完全には得られていないケースも見られます。

MONOist DX Forum 2024では、これらの課題を克服し、工場DXを成功に導くための実践的な知見を提供します。

具体的には、IoT技術の効果的な活用方法、データを活用した品質改善とコスト削減の事例、AIによる生産プロセスの自動化と最適化の実例などを視聴者に提供できればと思います。また、スマートファクトリー化において必要とされるセキュリティ対策や、人材育成のための戦略についても触れます。

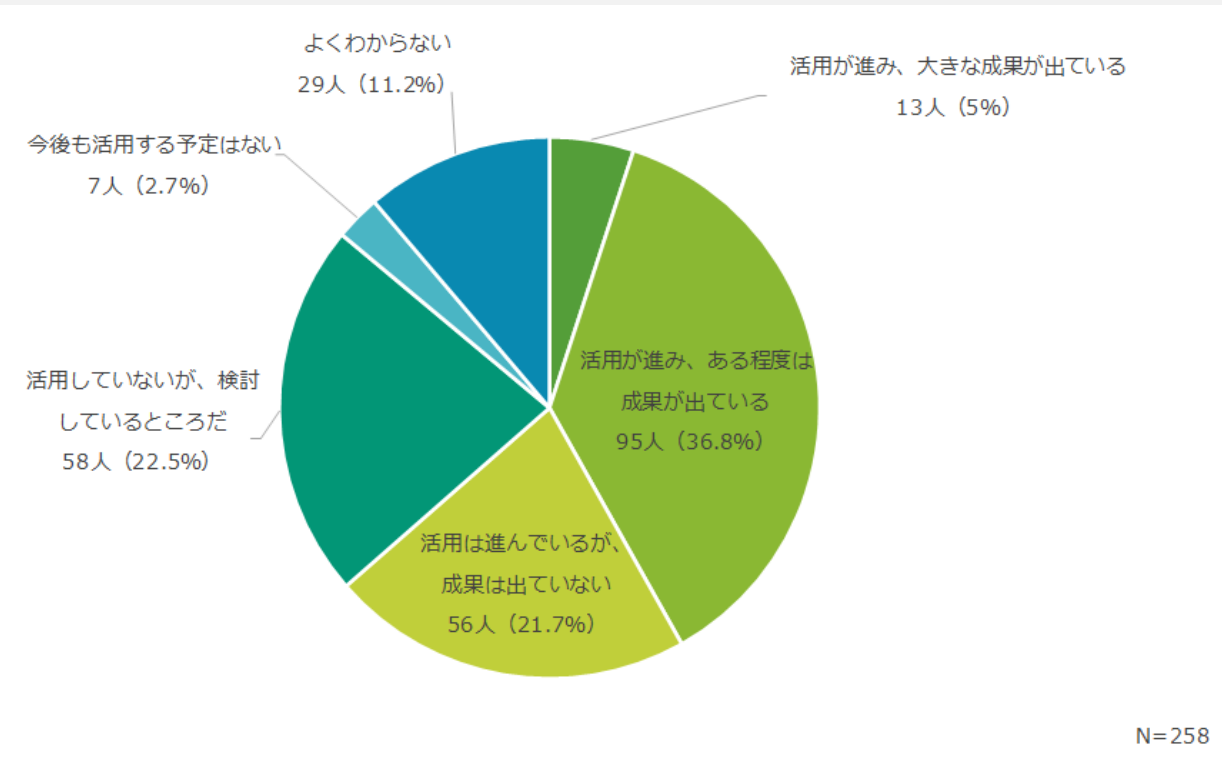
キーワード

- ・IoTの実践的活用方法と効果
- ・データ活用による品質管理とコスト削減
- ・AI技術による生産プロセスの自動化
- ・エッジコンピューティングの活用
- ・スマートセンシング技術
- ・産業用ネットワーク（OPC-UA、TSNなど）
- ・OTセキュリティ対策
- ・人材育成と組織文化の変革
- ・工場自動化 ・倉庫管理

など

MONOist DX Forum 2023より、参加者アンケート結果

貴社でのDXについて、社内の業務改善（工場など）やビジネス活用における進捗度をどう考えますか



効果が出ている活用方法や事例に注目

スマート化やDXの解決となるヒントをお届けします

コンテンツ詳細 2.本当に使えるERP(データ基盤)を考える

概要

製造業におけるDXの成功は、生産だけでなく、調達、販売、経営など企業全体のデータ連携と活用にかかっています。製品の開発からアフターサービスに至るまで、各業務間での情報のシームレスな流れは、顧客満足度の向上と新たなビジネス機会の創出に直結します。しかし、実際には、異なる業務領域ごとに個別のシステムが導入されており、これらのシステム間でのデータ連携がスムーズに行えていないことが、DXの大きな障壁となっています。

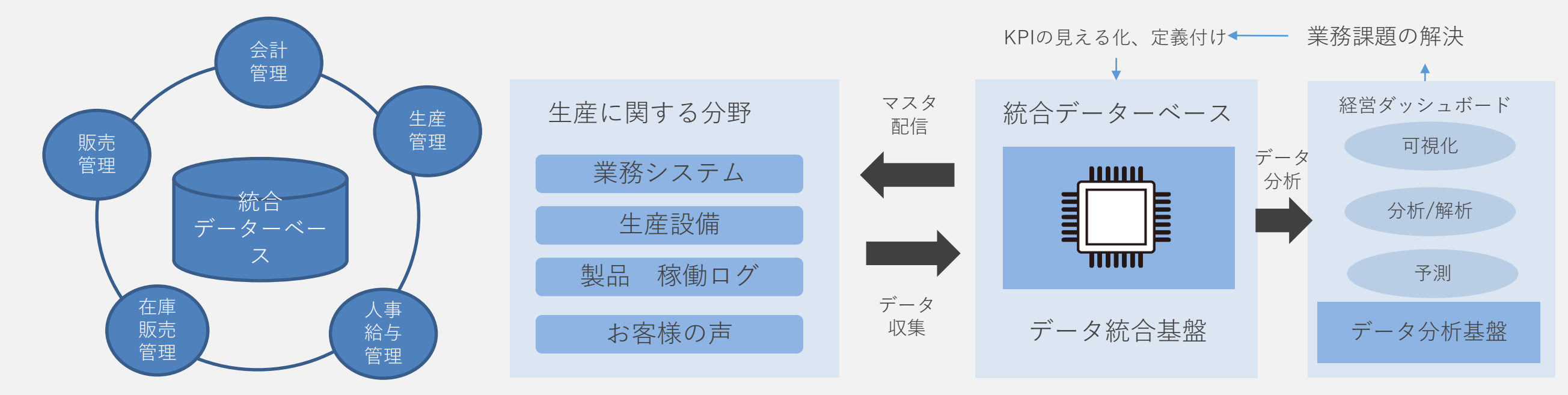
MONOist DX Forum 2024では、「本当に使えるERP（データ基盤）」をテーマに、製造業の組織全体でのデータ連携と活用の重要性を掘り下げます。実際に製造業が直面するデータ基盤の課題を解決するためのアプローチや、ERPシステムの最適な選択と導入プロセスについて取り上げます。

この過程で、**クラウドERPの活用やデジタル基盤におけるセキュリティ対策の重要性**にも触れ、これらが製造業のサービス化とデータ活用にどのように貢献するかを探求します。また、**サプライチェーンの最適化や持続可能な運営に向けた戦略**も重要な議論点となり、ERPがいかにしてこれらの課題に対処し、新たな価値を生み出すかを例示します。

キーワード

- ERPシステム選択のポイント
- データ基盤の構築と組織全体でのデータ連携
- 製造業のサービス化とデータ活用
- クラウドERPの活用とそのメリット
- デジタル基盤におけるセキュリティ対策など

ERP、データ基盤のイメージ



参考
<https://www.grandit.jp/erp/>

コンテンツ詳細 3.できるところから始める製造業DX

概要

一口に「製造業のDX」といっても、多くの企業にとって高度なITシステムをいきなり導入するのは、ノウハウやコストの観点から非常に難しいというのが実情です。経済産業省が発行している「ものづくり白書」においても、デジタル技術の活用において、取り組んでいない、成果が出ていないという回答の上位にはリソースやノウハウの問題が挙げられています。なぜDXが必要なのか、それに対しての意識や情報の不足もデータからうかがえます。

では「多くの製造業にとってIT活用やDXは実現不可能な取り組みなのか？」というと、そうともいえません。実際の業務を見渡すと、いまだ多くの企業で紙ベースでの業務管理コミュニケーションが行われているケースもあるなど、初歩的な「IT活用のファーストステップ」に踏み出せていない企業も、数多く存在します。

「できるところから始めるDX DAY」はこうした製造業ユーザーを想定し、「**まずは敷居の低いITシステムで手の届く範囲から業務改善を進め、将来のDXへの道筋をつける**」をコンセプトにしたテーマです。

コストや人材面で制約のある製造業における「まず取り組める業務改善＝IT活用」の手段として、「簡単に導入ができる」「自社で大規模な開発の必要がない」「コストパフォーマンスが高い」といったメリットを持つ、SaaSなどの活用にもフォーカスします。

キーワード

- ・脱Excel

・営業効率化

・AI活用
- ・ペーパーレス

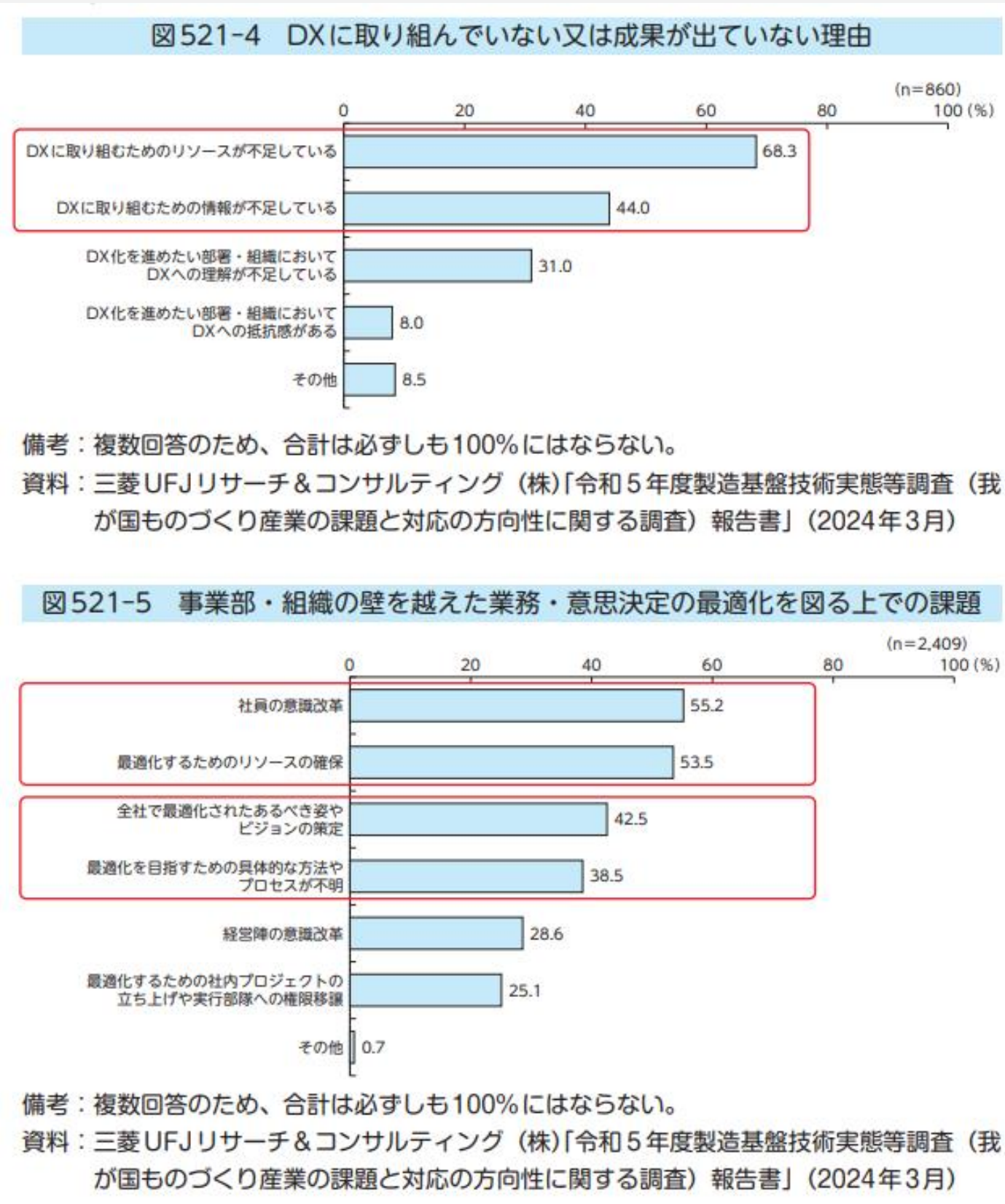
・リモートワーク
- ・勤怠管理

・動画マニュアル
- ・労務管理

・SaaS

など

視聴者の抱える課題



コンテンツ詳細 4.カーボンニュートラル

概要

カーボンニュートラルを実現するためには、デジタルトランスフォーメーション（DX）の力が不可欠です。DXは、データの活用や自動化を通じて、エネルギー消費の最適化や廃棄物の削減に寄与します。これにより、カーボンニュートラルとDXは切り離せない関係であり、共に技術革新と企業の成長を実現するための鍵となります。

カーボンニュートラルのテーマは、開催している「カーボンニュートラルテクノロジーフェア」を基にしており、製造業の「技術革新」と「持続可能な未来」を実現するための最新技術と具体的なアプローチを提供します。これにより、製造業が直面する課題を解決し、持続可能な成長へと導くための道筋を示します。

MONOist DX Forum 2024では、これらの課題を克服するための知見を提供し、エネルギー効率化や脱炭素化を実現するための事例などを紹介する予定です。またサプライチェーン全体での取り組みや最新技術の導入方法についても取り上げ、視聴者にアプローチ像を提供できればと考えております。※基調講演の内容については、調整中となり上記とは異なる内容になる場合がございます。

DXとカーボンニュートラルの融合が、製造業の未来を切り開き、持続可能な成長を実現するための重要な鍵となります。

キーワード 一部紹介

- 社会課題 ・ 排出量の8割以上Scope3 の削減 ・ 物流領域 CO2削減
- サプライチェーンの効率化、見える化、レジリエンス強化
- 生産システムの効率化 ・ CO2排出量見える化 ・ 発電、蓄電システム
- 太陽光発電／自家消費 ・ 蓄電池 ・ グリーン電力 ・ RE100対応
- エネルギーマネジメント ・ 排出量可視化 ・ カーボンフットプリント
- アセットマネジメント ・ 工場向けセンシング ・ 空調機器、LED照明
- サプライチェーンマネジメント（SCM）
- 物流最適化 ・ RE100対応 ・ 排出量削減 など

「カーボンニュートラルテクノロジー」について

製造業の「技術革新」と「持続な未来」を考える

世界的な脱炭素化が加速するなか、日本政府も「2050年のカーボンニュートラル達成」を宣言しました。こうしたカーボンニュートラルの波は、製造業の今後の事業戦略にも大きな影響をもたらしています。

製造業のカーボンニュートラルに関する施策は、取引先を含めたサプライチェーンにおける対策や工場・生産領域の脱炭素化、そして開発する製品そのもののサステナブル化など、多岐にわたります。

こうした製造業の業務領域別に分類、カーボンニュートラルに関するさまざまな課題解決に役立つ情報をお届けしているのが、

カーボンニュートラルテクノロジーフェア という弊社主催のデジタルイベントとなります。



2023年から毎年開催しており、カーボンニュートラルに関する各種ソリューションの訴求や、業界内に向けた自社の取り組みのアピール・ブランディングなどにご活用いただけるイベントとなっております。

日本の“モノづくり”を支援する専門情報メディア

- 媒体名
- URL
- PV
- メルマガ配信数

MONOist

<https://monoist.itmedia.co.jp>

約255万 PV/月 約103万 UB/月 ※2024年5月実績

約21.1万通

業種

ユーザー企業 約**68%**

主な内訳：製造業67.7%,情報サービス業11%

職種

モノづくり関連職 約**58%**

主な内訳：モノづくり関連職 57.5%,
社内情報システム12.8%

役職

課長クラス以上 約**60%**

主な内訳：課長クラス21.5%,
係長・主任クラス19.8%

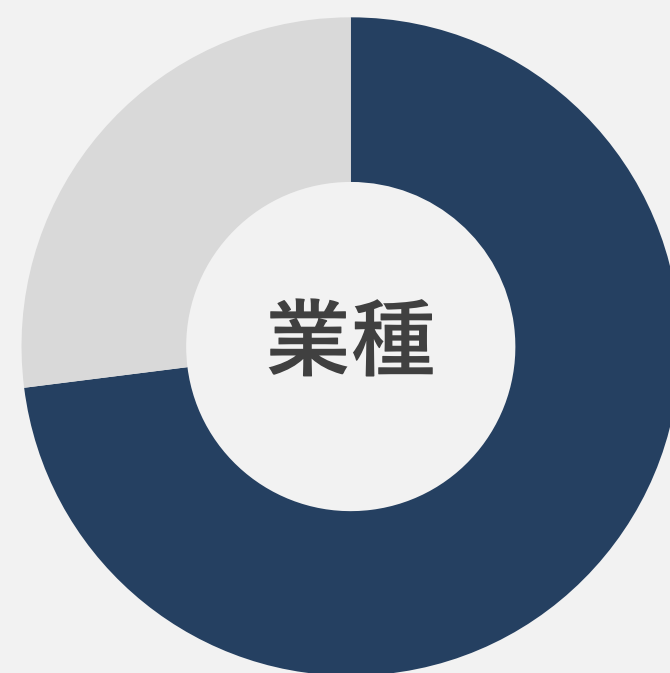


世界のエレクトロニクス動向が分かる総合情報メディア

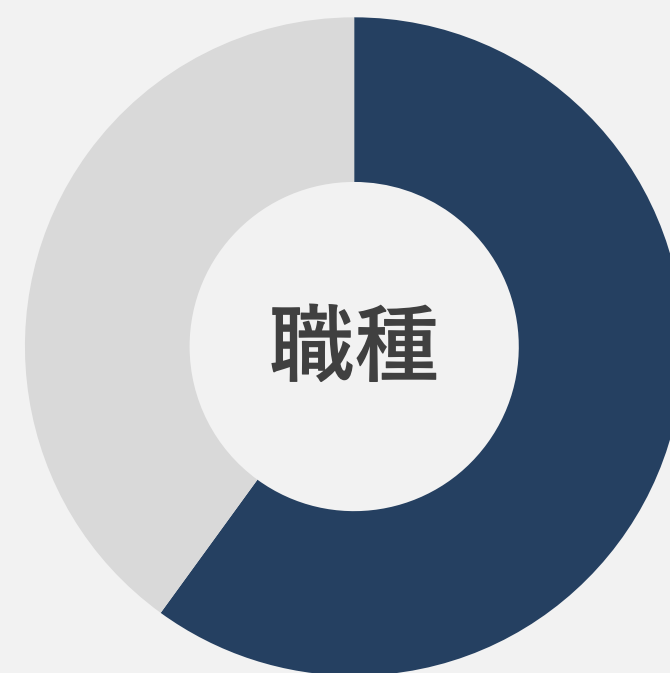


- 媒体名
- URL
- PV
- メルマガ配信数

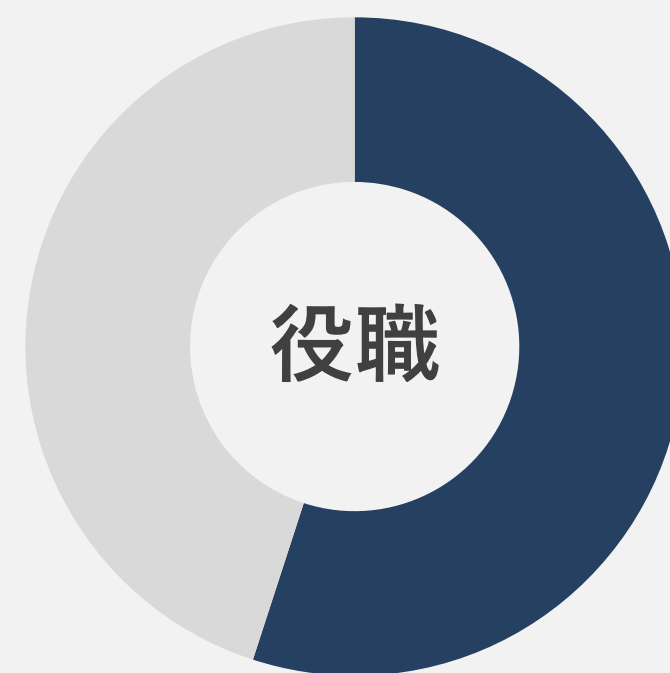
EE Times Japan
<https://eetimes.itmedia.co.jp/>
 約181万 PV/月 約55万 UB/月 ※2024年5月実績
 約13.5万通



ユーザー企業 約73%
 主な内訳：製造業73.2%,情報サービス業6.9%



モノづくり関連職 約60%
 主な内訳：モノづくり関連職 60.1%,その他39.9%



課長クラス以上 約55%
 主な内訳：課長クラス20.8%,
 係長・主任クラス15.2%

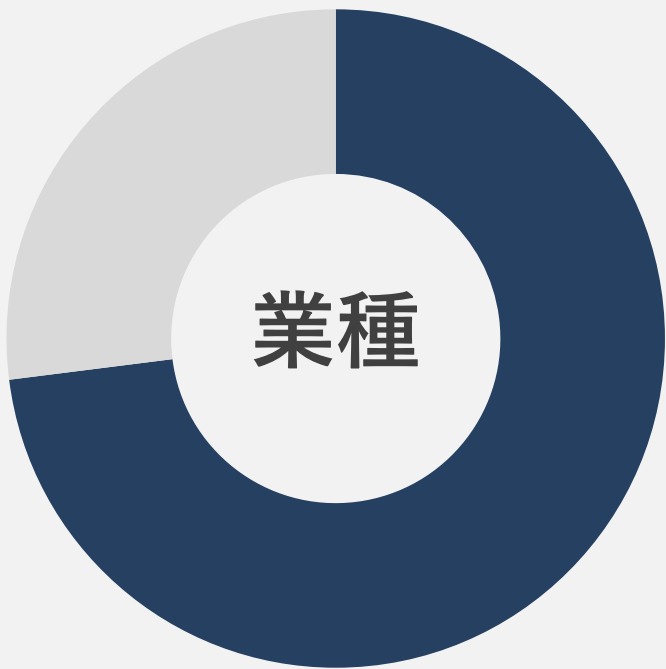


電子機器設計の基本と応用が分かる実用技術メディア

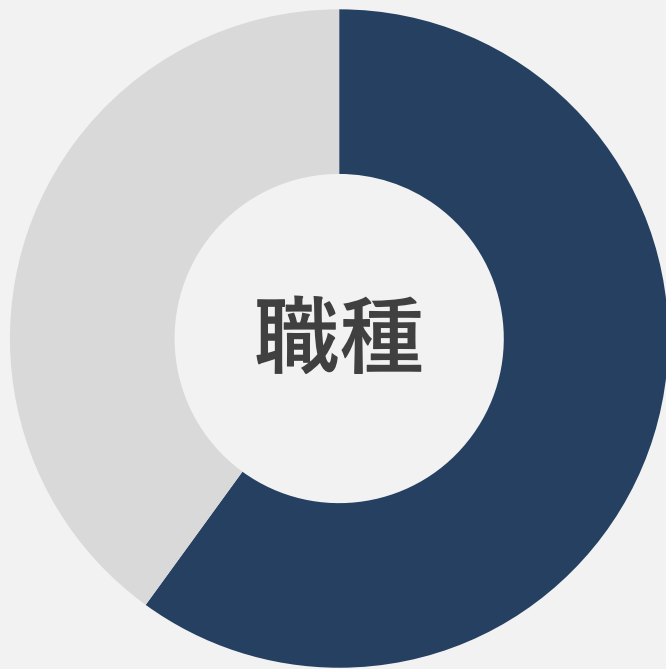


- 媒体名
- URL
- PV

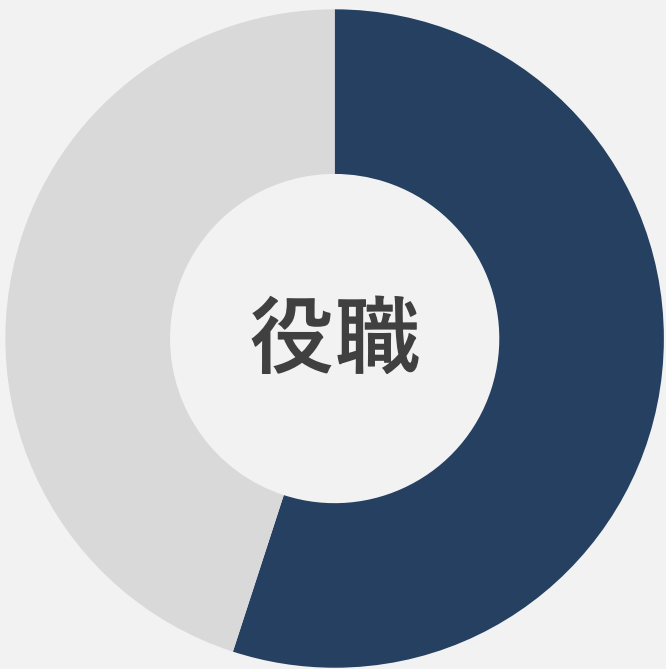
EDN Japan
<https://ednjapan.com/>
約48万 PV/月 約17万 UB/月 ※2024年5月実績



ユーザー企業 約**73%**
主な内訳：製造業73.2%,情報サービス業6.9%



モノづくり関連職 約**60%**
主な内訳：モノづくり関連職 60.1%,その他39.9%



課長クラス以上 約**55%**
主な内訳：課長クラス20.8%,
係長・主任クラス15.2%

タイムテーブル

時間	枠 時間	1.工場DX (IoT、データ活用、AI)	2.本当に使える ERP(データ基盤) を考える	3.できるところから 始める製造業DX	4.カーボンニュートラル
13:00-13:40	40分	基調講演1	基調講演2	基調講演3	基調講演4
13:50-14:20	30分	スポンサー セッション1-1	スポンサー セッション2-1	スポンサー セッション3-1	スポンサー セッション4-1
14:30-15:00	30分	スポンサー セッション1-2	スポンサー セッション2-2	スポンサー セッション3-2	スポンサー セッション4-2
15:10-15:40	30分	スポンサー セッション1-3	スポンサー セッション2-3	スポンサー セッション3-3	スポンサー セッション4-3
15:50-16:20	30分	スポンサー セッション1-4	スポンサー セッション2-4	スポンサー セッション3-4	スポンサー セッション4-4

開催中止

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー

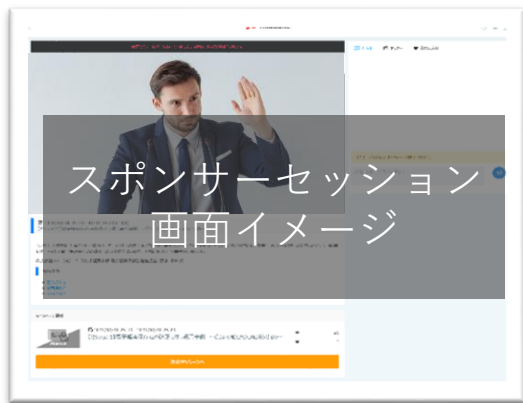
	セッションプラン	リストプラン
	セッションでサービスや商品のアピール可能 当社でも一番人気のプランです。	セッションの準備は難しいご協賛社様が、 手軽にリードを獲得できるプランです。
スポンサーセッション Live配信＋アーカイブ	●	-
全申込者リスト	500名想定	500名想定
セッションアンケート	●	-
視聴者データ・レポートサイト	●	-
事前アンケート結果	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●
資料配布	●	-
開催報告書	●	●
料金 （すべて税別・グロス価格）	¥2,800,000-	¥2,100,000-

※お申込者数は想定値となります。
※ご協賛状況により、実施は見合わせする場合がございます。事前のご了承、およびお申込み締切にご協力頂けますようお願いいたします。
※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能



| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者の名刺情報のリストをご提供
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・関与・年商規模など
- イベント終了後3～5営業日以内にExcelデータ形式にて納品

| 視聴者データレポートサイト

- セッションのレポートサイトをご提供
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報
※DL可能

| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供
- 個人情報は含まない集計データでの提供

※画像はイメージです。

オプションメニュー1

| 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥180,000～**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 納品されるリード情報に、主催アンケートの回答情報を付与して納品
- リード情報納期は、セミナー閉幕日の3-5営業日後に納品
- アンケート回答情報 納期は、セミナー閉幕日の2-3週間後を目途に追って納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

| 納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

| リード カスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって金額は変動
料金 500件～ **¥100,000～**

| ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示
- ショート動画の埋め込み
- フローティングバナー情報掲載

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金 **¥500,000**

| アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

~~¥2,450,000~~
料金 **¥2,300,000**

| テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数 50件～
- 期間 3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

オプションメニュー2

セッション動画活用リード獲得 | タイアップ プッシュ ターゲティング & ABM | セッションパンフレット作成（製造・建設関連） | 産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ

- 講演動画や資料をTechFactoryに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性 & 件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvr>

料金

¥1,100,000

¥900,000

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。
- 狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金

¥1,300,000~

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金

¥1,200,000

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- モノづくり・建築などの産業テクノロジー関心層が多く集まるメディア横断でタイアップ記事への誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvk>

料金

3,000PV保証 ¥1,500,000

¥1,300,000

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

お申込みからの流れ

申込締切

セッションプラン：2024年11月20日(水)
リストプラン：2024年12月6日(金)

ご出展意思を担当営業にお伝えください。
後日弊社より発注書が送付されますので
DocuSignにご署名のうえご返送ください。

告知準備

セッションの講演者情報、講演タイトル、貴社ロゴデータ等と合わせてご提出いただく、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

告知開始

2024年11月中旬頃

事務局にてイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。
登録・視聴促進の為、**インセンティブ**を使用する場合がございます。

開催準備

2024年11月下旬頃

配布資料・視聴者向けセッションアンケート
設問・動画納品など**講演に関する情報**を事務局にご提出ください。
※開催2週間前程度
開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送りいたします。

開催

2024年12月11日(水)～13日(金)

ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までにアイティメディアのスタジオ受付にお越しください。

レポート

会期終了3～5営業日以内に**事前申込者リスト**をご提出いたします。終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。
※予定

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出いたします。

上記スケジュールは目安であり、状況によって変更になる場合がございます

過去開催イベント情報



協賛 (※50音順)	アステリア株式会社 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート キャディ株式会社 Smartsheet Japan株式会社 株式会社T Project 株式会社データ・アプリケーション
申込みページURL	https://members12.live.itmedia.co.jp/library/NjIwMTg%253D?group=monodx231213

■ 申込企業一覧（製造業） ※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

- EIZO
- eneosマテリアル
- FICT
- Fホールディングス
- GSユアサ
- HGSTジャパン
- HOYAデジタルソリューションズ
- IBS
- IHI
- JVCケンウッド
- JX金属
- LIXIL
- NEC
- NECソリューションイノベータ
- NECプラットフォームズ
- ODKソリューションズ
- REALIZE
- SCREEN ICTソフトウェア
- SUBARU
- TBK
- TOPPAN
- TOTO

- TOWA
- アークレイ
- アール・ビー・コントロールズ
- アールテック
- アイジー工業
- アイシン
- アイシン精機
- アキレス
- アズビル
- アツミテック
- アドバンテスト
- アビームシステムズ
- アルバック
- アルプスアルパイン
- アルプス電気
- アンリツ
- いすゞ自動車
- インフォファーム
- エイトシステム
- エイブリック
- エー・アイ・エス
- エスケーエレクトロニクス

- エスユーエス
- エヌエステック
- オイレス工業
- オークマ
- オークラ輸送機
- オートデスク
- オムロン
- オムロンソフトウェア
- オリジン
- カネカ
- キャセイ・トライテック
- キャタピラー・ジャパン
- キャディ
- キヤノン
- キヤノンファインテックニスカ
- キヤノンマシナリー

- クボタ
- コーセー
- コスモ総合研究所
- コニカミノルタ
- コニカミノルタジャパン
- サンデン
- サントリー
- シーケーディ
- ジェイ・アール・シー特機
- ジェイ・バス
- ジェピコ
- シチズンTIC
- シャープマーケティングジャパン
- シュナイダーエレクトリックホールディングス
- シンコー
- シンフォニアテクノロジー
- スギノマシン
- スズキ
- スミロン
- スリーエムジャパン
- セナーアンドバーンズ
- ソード
- ソシオネクスト
- ソディック

- ソニー
- ソニーセミコンダクタソリューションズ
- ダイセル
- ダイハツ工業
- ダイフク
- タイム技研
- タカラスタANDARD
- タダノエンジニアリング
- タピルス
- ダミー
- タムロン
- チヨダエレクトリック
- データ・アプリケーション
- テラスマイル
- デロイトトーマツコンサルティング
- デンソー
- デンソーウェーブ
- トピー工業
- トプコン
- トヨセット

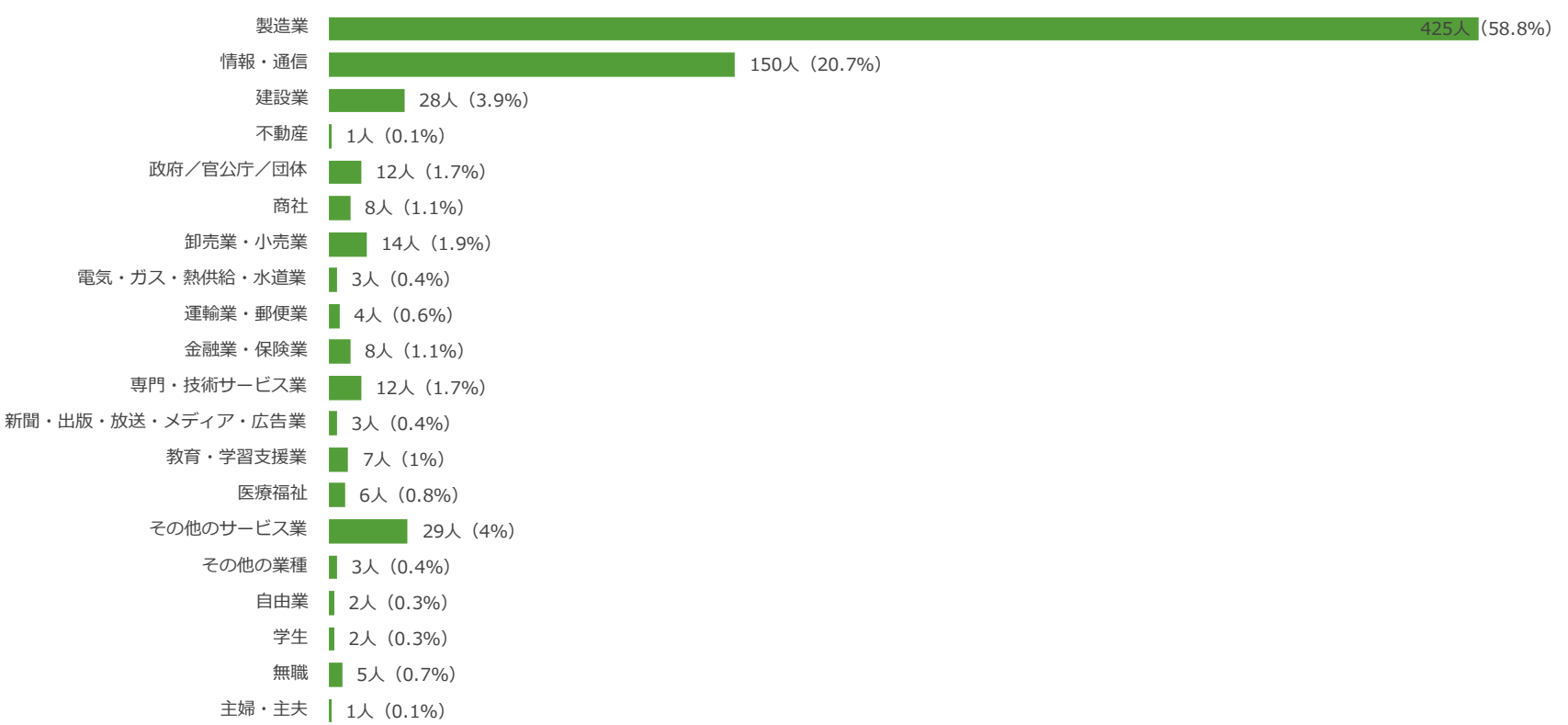
過去開催イベント情報

■ 申込企業一覧（製造業） ※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

- トヨタ自動車
- トヨタ自動車九州
- トヨタ紡織
- ドリーム・アーツ
- ナルックス
- なんつね
- ニコン
- ニチアス
- ニチコン大野第三工場
- ニチハ
- ノースランド
- パイオニア
- パナソニック
- パナソニック SFS
- パナソニック インダストリー
- パナソニックAP空調・冷設機器
- パナソニックコネクト
- パナソニックファクトリーソリューションズ
- パナソニックプロダクションエンジニアリング
- パナソニック住宅設備
- パナソニック半導体オプトデバイス
- ハマダコンフェクト
- バンダイナムコスタジオ
- ファインネクス
- ファナティック
- フェローテックセラミックス
- フォルテック
- フジクラエナジーシステムズ
- フジシール
- プライムアースEVエナジー
- ブラザー工業
- ブリヂストン
- プロテリアル
- ベルソニカ
- ホシデン
- ボッシュ
- マツダ
- ミスミ
- ミネベア アクセスソリューションズ
- ミネベアミツミ
- ミラプロ
- モルテン
- ヤマハ
- ヤング産業
- ヤンマーエネルギーシステム
- ユナイテッド・プレシジョン・テクノロジーズ
- ヨータイ
- リコー
- リンナイ
- ルネサスエレクトロニクス
- ルネサスシステムデザイン
- ロート製薬
- ロジダイ
- ロンビック
- ワイ・ディ・シー
- 愛三工業
- 愛知産業
- 旭ダイヤモンド工業
- 旭化成
- 旭化成ケミカルズ
- 旭有機材
- 伊勢化学工業
- 伊藤忠丸紅鉄鋼
- 荏原冷熱システム
- 横河電機
- 岡野バルブ製造
- 丸善製薬
- 吉野川電線
- 久留米情報システム
- 京セラ
- 京セラドキュメントソリューションズ
- 京三製作所
- 京写
- 協和キリン
- 金沢村田製作所
- 構造計画研究所
- 今仙電機製作所
- 三井E&Sホールディングス
- 三菱ケミカル
- 三菱パワー
- 三菱マテリアル
- 三菱マヒンドラ農機
- 三菱自動車工業
- 三菱重工機械システム
- 三菱重工
- 三菱電機
- 三菱電機エンジ
- 三菱電機ソフトウェア
- 三菱電機神戸製作所
- 山形カシオ
- 山城精機製作所
- 山洋電気
- 芝浦機械
- 蛇の目ミシン工業
- 秋田エブソン
- 住友ゴム工業
- 住友化学
- 住友電気工業
- 小糸製作所
- 小松製作所
- 小森コーポレーション
- 松下タウンクリーナ
- 松下産業
- 松下電器産業 パナソニックオートモーティブシステムズ社
- 象印マホービン
- 信越化学工業
- 新コスモス電機
- 新光電気工業
- 新川電機
- 新日本コンピュータサービス
- 図研
- 数理先端技術研究所
- 清水工業
- 西部電機
- 静岡電装
- 石原産業
- 積水化学工業
- 川崎重工業
- 双葉電子工業
- 村田機械
- 村田製作所
- 太洋電機産業
- 太陽ホールディングス
- 太陽誘電
- 太陽誘電モバイルテクノロジー
- 大羽精研
- 大王製紙
- 大吉プラスチック工業
- 大和化成工業
- 第一工業
- 中日本炉工業
- 長谷川工業
- 椿本カスタムチエン
- 帝国通信工業
- 天藤製薬
- 田中金属製作所
- 電業社機械製作所
- 島根島津
- 島精機製作所
- 島津製作所
- 東タイ
- 東レ
- 東亜産業
- 東京エレクトロン
- 東京エレクトロン宮城
- 東京エレクトロン九州
- 東京パワーテクノロジー
- 東光高岳

過去開催イベント情報

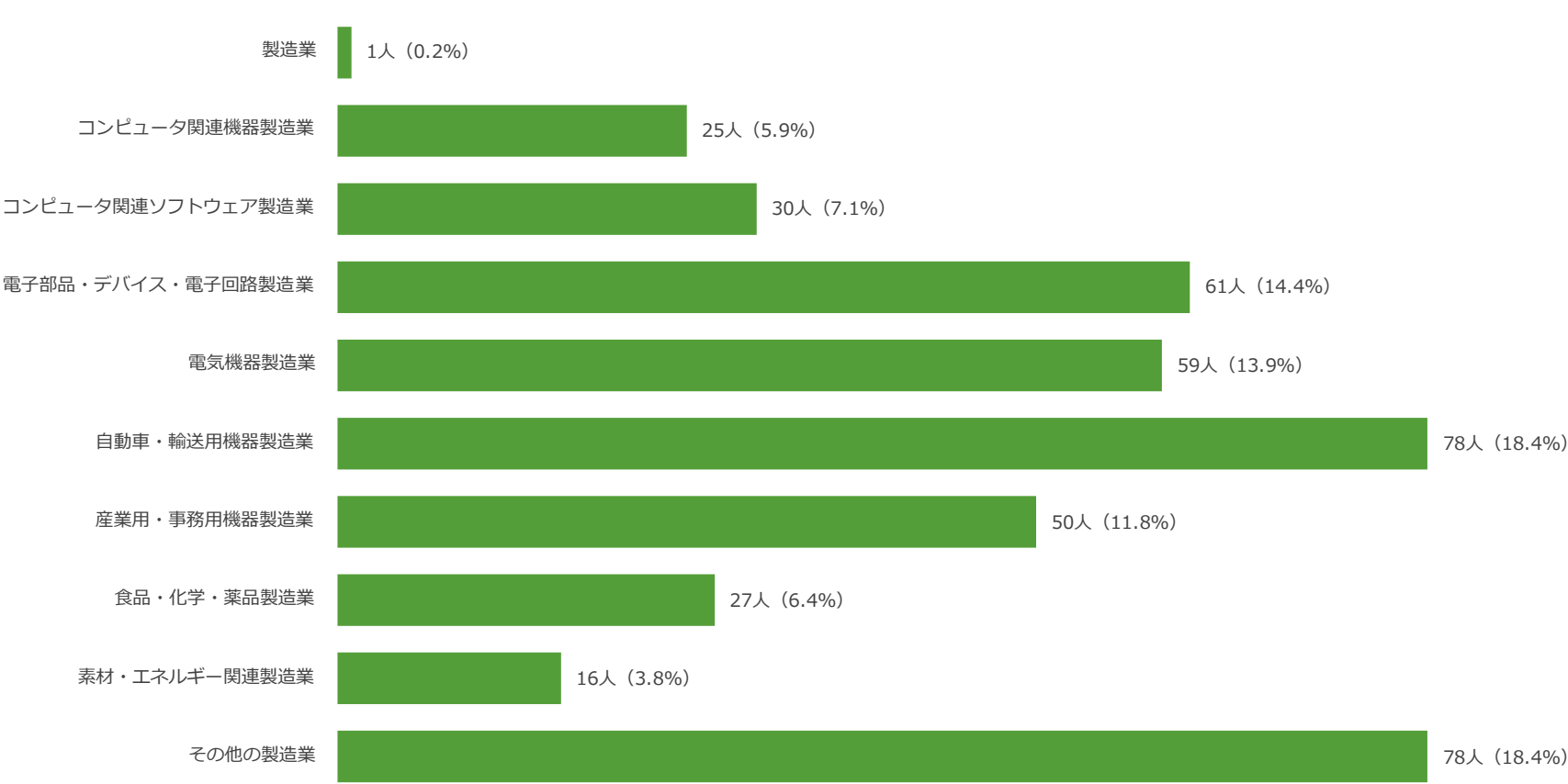
業種



N=723

「製造業」の方が約6割を占めており、ターゲット層を集めることができました。

業種（製造業詳細）

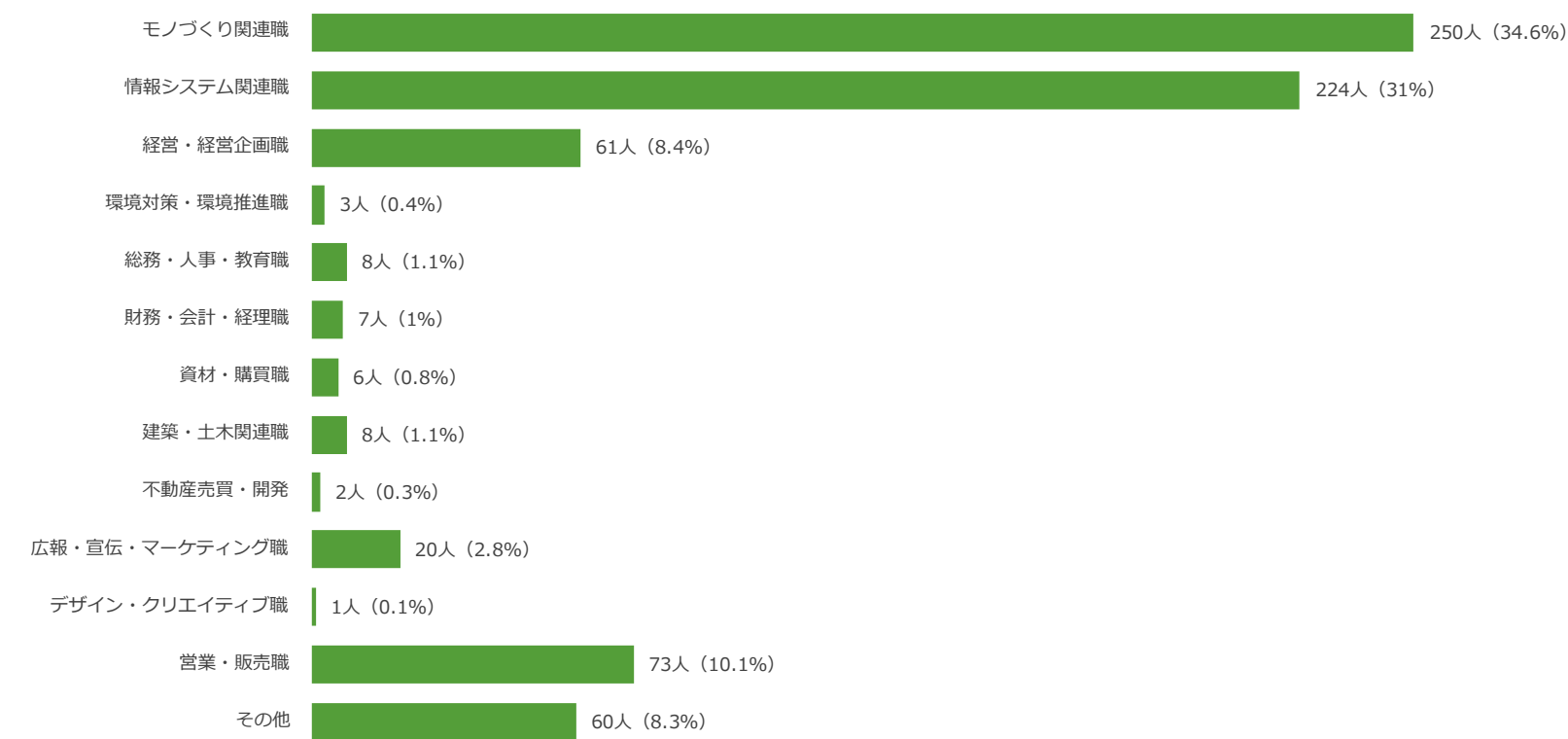


N=425

製造業のなかでは「自動車・輸送用機器製造業」の方が最も多く78名（18.4%）、次いで「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の方から多くのお申し込みをいただきました。

過去開催イベント情報

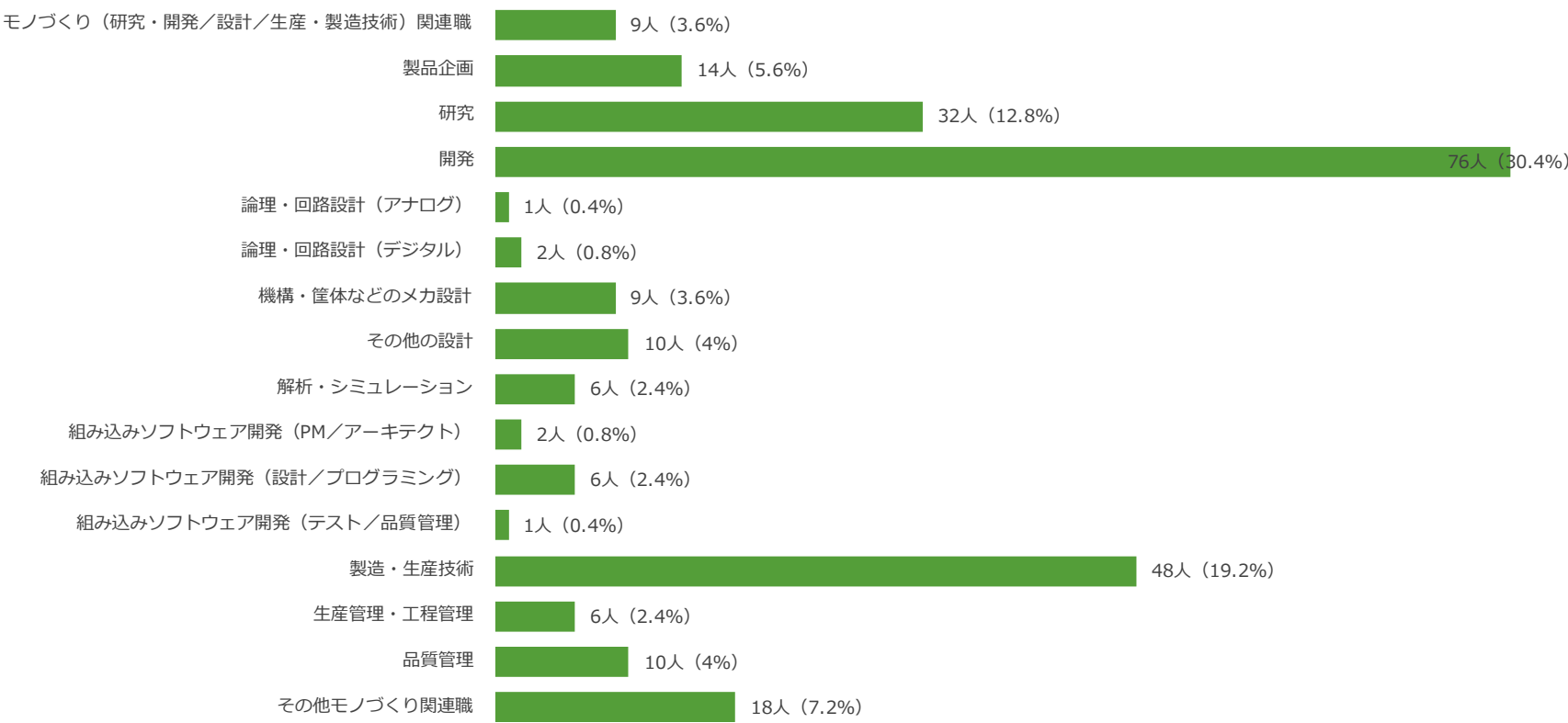
職種



N=723

「モノづくり関連職」の方が最も多く250人（34.6%）とターゲット層からのお申し込みが多い結果となりました。

職種（モノづくり関連職詳細）

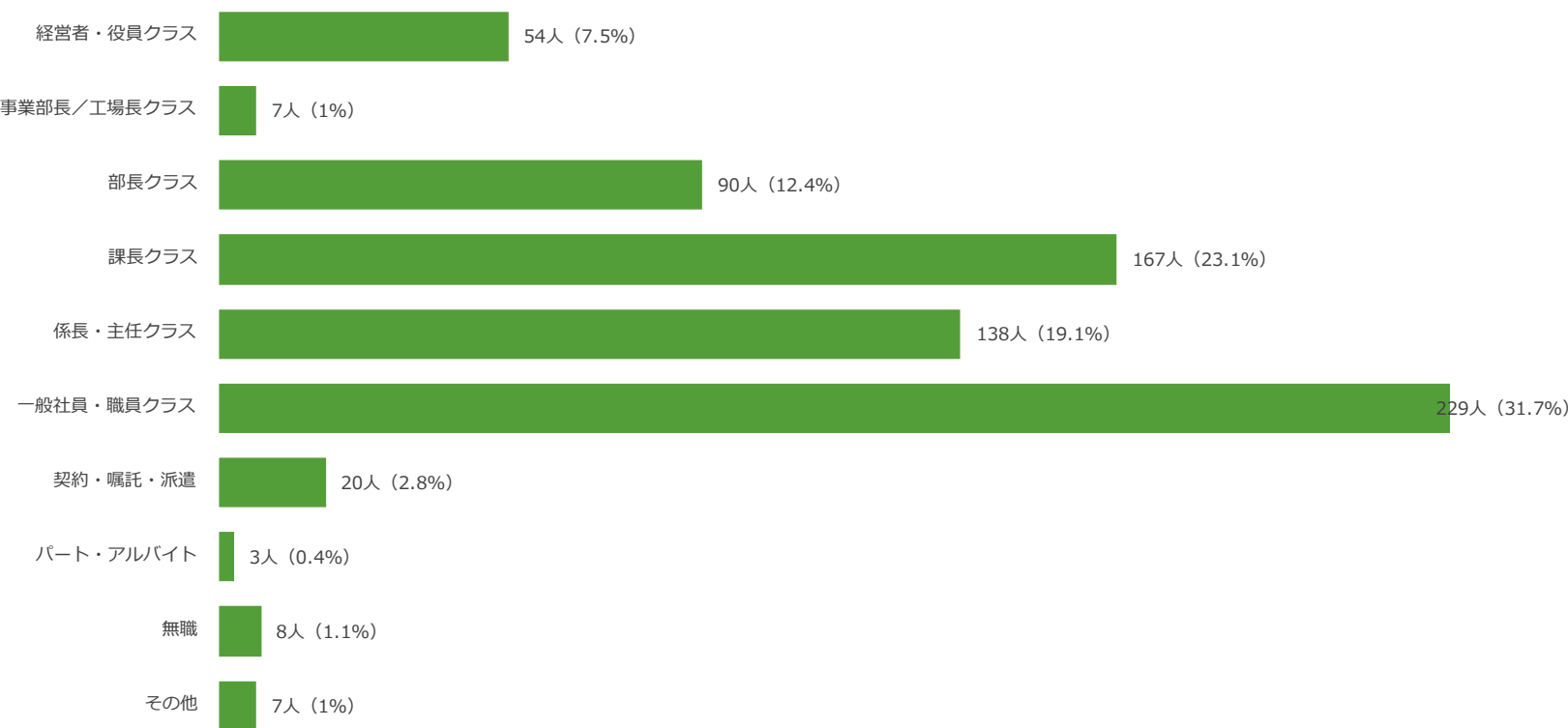


N=250

モノづくり関連職のなかでは「開発」の方が最も多く76人（80.4%）、次いで「製造・生産技術」の方に多くお申し込みをいただきました。

過去開催イベント情報

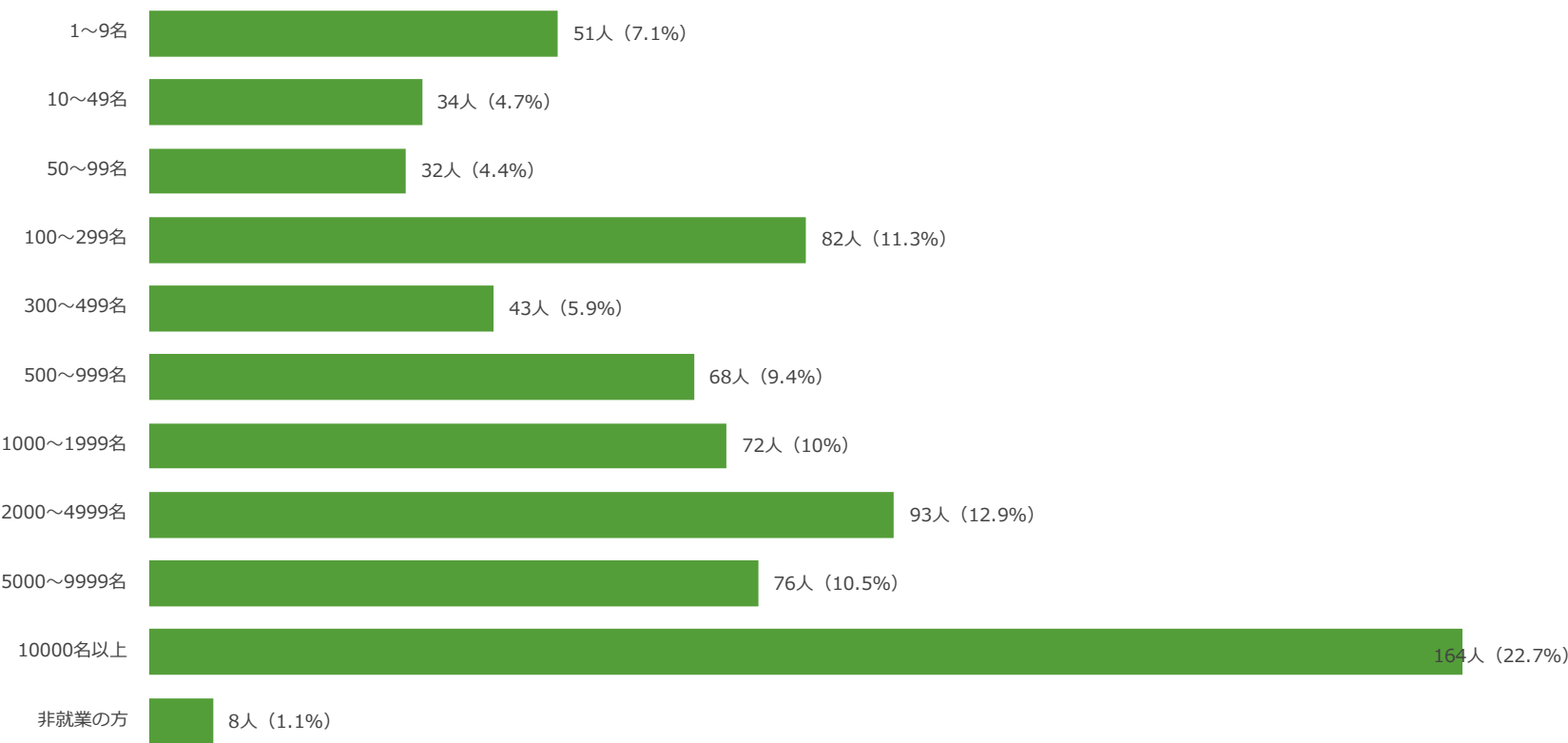
役職



N=723

部課長職以上の役職者は456人で、
全体における割合は半数を超える結果となりました。

従業員規模



N=723

10000人以上の大企業にお勤めの方が最も多く、164人（22.7%）でした。
次いで、2000～4999名の企業にお勤めの方は93人（12.9%）となり、
1000人以上規模の企業の方からのお申し込みが56.1%となりました。

ご留意事項

｜ キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル
登録用紙の提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル ：50％
開催日40日以内のキャンセル ：100％

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

｜ 消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

｜ 配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

｜ オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10％以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

メールでのお問い合わせ

mail : sales@ml.itmedia.co.jp

アイティメディア株式会社 営業本部

デジタルイベントの最新情報はこちら
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>